

# 2019 春季生活闘争・妥結情報

2019. 4. 22 — 第 14 号 — 連合北海道 春季生活闘争本部

## 2019 春季生活闘争 第 4 回回答集計について

連合本部は、2019 春季生活闘争につき、4 月 16 日(火) 10 時時点で取りまとめた回答集計について、次の通り報告した。

- 第 3 回回答集計 (4 月 5 日公表) 以降、新たに 756 組合が回答を引き出した。全体 (3, 032 組合) の平均は 6, 292 円・2. 13% で、昨年同時期を 164 円・0. 03 ポイント上回った。「賃上げ」の流れは依然として力強く維持されている。
- とりわけ中小組合 (300 人未満) の平均は 5, 110 円・2. 04% で、第 4 回回答集計結果としては 4 年ぶりに 2% 台を回復するとともに、消費税引き上げの影響があった 2015 春季生活闘争の結果 2. 01% をも上回った。このことは、中小組合が自らめざす賃金水準にこだわり、粘り強く交渉した成果と受け止める。
- 2019 春季生活闘争はこれからが正念場である。構成組織および地方連合会との連携のもと、要求未提出組合の速やかな要求提出と未解決組合の早期解決に向けた全面的な支援を行うとともに、すべての働く者の賃金の「底上げ・底支え」「格差是正」実現に向け、月例賃金の引き上げをあまねく波及させるため、最後まで全力で闘っていく。

連合北海道における妥結報告のあった組合 (4 月 19 日現在) は、エントリー-253 組合中 102 組合となり、登録組合の 40.3% が妥結している。

集計可能組合の 100 組合 35,563 人における回答妥結額 (加重平均) は、6,245 円 (定昇・ベア込み)、妥結率は 2.36% となった。昨年同時期 (集計対象 128 組合 33,383 人) は、5,813 円、2.20% でそれぞれ 432 円、0.16 ポイント上回った。しかし、300 人未満の中小組合では、昨年同時期比 ▲333 円・▲0.18 ポイントとそれぞれ前年を下回った。300 人以上の中堅・大手組合の昨年同時期比は、458 円・0.20 ポイントと上回っており、中堅・大手の「人的投資の促進」がより進んでいるといえる一方、企業規模間格差が拡大する結果となっている。

また、昨年対比が可能な 57 組合のうち、29 組合が昨年を上回る回答を引き出し、54.4% (前年同時期 55.3%) の組合が、定昇相当分の 4,500 円以上の賃上げを勝ち取った。

非正規については、時間給で 18 組合が妥結し、加重平均で 25.2 円・2.77% と、正規労働者を上回る大幅な改善が図られている。月例給では 4 組合が妥結し、加重平均で 3,430 円超の回答を引き出した。

連合北海道は、未解決組合の賃金交渉を促進し早期の決着に向け情報を再発信するとともに、支援体制を続けていく。

### 【組合規模別賃上げ状況 2019年4月19日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均 妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込み)	昨年比
～99 人	43	1,890 人	4,043 円(1.96%)	4,116 円(1.79%)	-73 円(+0.17)
100～299 人	28	4,839 人	4,684 円(1.91%)	5,385 円(2.32%)	-701 円(-0.41)
<b>300 人未満計</b>	<b>71</b>	<b>6,729 人</b>	<b>4,511 円(1.92%)</b>	<b>4,844 円(2.10%)</b>	<b>-333 円(-0.18)</b>
300～999 人	21	10,763 人	5,251 円(2.03%)	5,063 円(1.93%)	+188 円(+0.10)
1,000 人～	8	18,071 人	7,065 円(2.59%)	6,901 円(2.48%)	+164 円(+0.11)
<b>300 人以上計</b>	<b>29</b>	<b>28,834 人</b>	<b>6,495 円(2.42%)</b>	<b>6,037 円(2.22%)</b>	<b>+458 円(+0.20)</b>
<b>計</b>	<b>100</b>	<b>35,563 人</b>	<b>6,245 円(2.36%)</b>	<b>5,813 円(2.20%)</b>	<b>+432 円(+0.16)</b>